北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光研究ゼミナールIV	科目コード	1236	単位数	2
担当者名	三田村　保	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe704	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講義は、自ら観光産業と情報技術（IT）およびその応用分野（ゲーム、アプリ、Webサービス、SNS、人工知能、データサイエンス、仮想現実など）に関連した観光情報学に関するテーマを設定し、調査、報告、ディスカッション、制作、レポート作成などを通して、問題解決能力の向上を目的とします。

到達目標

観光情報学に関するテーマを自ら発見し、調査および分析などを行い、発表・ディスカッションなどによる問題解決能力が修得できる。
学内Wi−Fiを?いてオンライン上のデータ／アプリ／サービスを授業で使?し、ICT（情報通信技術）の利活?の?法を学ぶ／利活?ができるようになる。

授業内容

1週目 講義ガイダンス、研究環境の整備
2週目 テーマの選定と背景の調査
3週目 選定したテーマに対する仮説の設定
4週目 研究計画の作成
5週目 研究計画の検討
6週目 研究計画発表
7週目 活動報告・ディスカッション（1）データの分析方法の検討
8週目 活動報告・ディスカッション（2）分析結果の意見交換
9週目 活動報告・ディスカッション（3）研究進捗に対するフィードバック
10週目 活動報告・ディスカッション（4）研究の問題点の整理
11週目 活動報告・ディスカッション（5）提案された解決策の検討
12週目 活動報告・ディスカッション（6）データの結果に基づく仮説の検討
13週目 活動報告・ディスカッション（7）実施した解決策の効果検証
14週目 活動報告・ディスカッション（8）研究のまとめ
15週目 研究発表・評価
16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・各週３時間の予習・復習を行うこと。
・予習：資料は事前にmanabaにて配布するので、学内Wi−Fi等を?いて各?アクセスし、要点を把握するとともに、不明点を明らかにしておくこと。
・復習：授業での指導・議論を振り返り、課題に取り組むこと。課題はmanabaにて提出すること。

成績評価の方法・基準

・成績評価は11週以上出席した履修者を対象とし、課題やゼミでの活動内容をもとに評価します。

履修上の留意点

・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
・授業内で課題の提出、研究発表を行うので、ノートPCを持参してください。
・授業時間以外にも?主的に調査・情報収集の取り組みが必要になるので、学内Wi−Fiを?由に使い、積極的に取り組むことが望ましい。
・学内Wi−Fiの利?等に関わるセキュリティ対策のために、ガイダンス等で?される指?を順守すること。

課題に対するフィードバックの方法

・manabaにて提出された課題や発表に対し適宜フィードバックをします。

テキスト

特になし。必要に応じて資料を配布します。

参考書

岡本 健 (編集), 松井 広志 (編集), 松本 健太郎 (編集)『ゆるレポ: 卒論・レポートに役立つ「現代社会」と「メディア・コンテンツ」に関する40の研究』（人文書院）1980円

更新日付

2026/02/26 10:52